

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 02010030

政策目標	5 ささあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	A	
単位施策	1 計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	公共施設等総合管理計画策定事業	見直し年度		
事業期間	平成26年度～平成27年度	担当課	2 財務企画課	
事業主体	町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	計画本数		#N/A	
事業目標	1計画	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名	有 インフラ長寿命化基本計画	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	公共施設等の全体状況を把握し、最適な配置を検討するとともに、長期的な視点で更新・統廃合・長寿命化を計画的に行うため、町としての基本的な方針等を定めた計画を策定する。		検討・協議 固定資産台帳整備準備	固定資産台帳整備 計画策定		
	事業費(千円)	5,500	0	0	5,500	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	5,500			5,500		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	0		0			
特定財源の名称 特別交付税措置(1/2)	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等) 検討・協議 固定資産台帳整備準備	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		検討・協議	1計画		
年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	#DIV/0!
第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	0%	0%	0%	0%	0%
事業進捗状況		☆☆☆☆				

事業名	公共施設等総合管理計画策定事業	評価者	管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木 幸博
		評価者	作成者 職氏名	財政係長	福田 泰弘

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公共施設等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	公共施設等総合管理計画策定の決定	
【抱える課題やニーズは】	公共施設等については、施設の老朽化により改修等が増加することが予想される一方で人口減少等により利用形態が変化していくことが予想されている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点を持って、計画的に更新・統廃合・長寿命化を進めることができる。	①	目標年度	平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	計画を策定することにより、今後の公共施設等の方向性を定め、将来の財政負担を軽減・平準化することができる。		目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %
		②	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	検討・協議	計画策定に向け、各課で保有する台帳の状況確認、関係課との調整を行った。		
	固定資産台帳整備準備	固定資産台帳整備に係る予算措置を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	これまで、施設管理は所管する部門ごとに行ってきたが、厳しい財政状況や今後人口減少が見込まれることから、長期的な視点を持った、計画策定が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		策定に向けた検討・協議を行い、固定資産台帳の整備に向け準備することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		計画策定の検討・協議や固定資産台帳整備準備は職員が行ったことから、事業費が掛からなかった。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		公共施設等を適切に管理することは、財政負担を軽減・平準化することができることから、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
策定に向けた準備は、計画どおり進めることができた。今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
公共施設等の老朽化により改修等が増加することが予想される一方で人口減少等により利用形態が変化することが予想されるため、計画通り公共施設等総合管理計画の策定が必要である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止